

オホーツクの風

令和6年8月26日(月) 0030号

発行所

北見赤十字病院の明日を考え支援する会

北見市北二条東2丁目6-1
電話 0157-31-2854

最適な栄養バランスそして 病院での食事を楽しく

患者の皆さんと誠実に向きあう栄養課

私はI g G 4 関連胆管炎で、2018(平成30)年4月、

北見赤十字病院に入院。その時の日記に

日々の食事も記述。食事プレートにそ

れぞれの食器の略図を描き、料理名や材

料などをメモし、味や美味しさを記録し

た。退院までにA4の日記が十数枚にな

った。痛みを堪えながらの療養で食事はほと

とする一時間で、大いに楽しんだ。

この病院食の司令塔である栄養課が今回の特集です。

栄養課は医療技術部に属し、管理栄養士の井田課長の基で

本院の5名と道立北見病院の1名の栄養士が業務を遂行して

いる。

患者の皆さん(以下患者と表示)の病状に応じた食事を立案し、適切に提供し、治療をサポートする、そして医師の指示の基で栄養計画を立案し、献立の基本的考えをまとめる。

詳しくは、患者の病気や栄養状態に合わせて、食事制限のない一般食や減塩食、低たんぱく食などの特別食、術後の食事などを考える。

また季節ごとの「行事食」や出産時の「祝い膳」などの提供も仕事の一部です。

病院食は治療としての役割だけでなく、入院中も食事を楽しみ美味しく食べ

てもらうために、そのアイデアや調理の工夫なども大事な仕事です。

以上のような基本的考えを的確に外注先の調理部門に伝達する。

これを受けて調理の現業部門で週間献立が編成され、病棟に掲示される。そして早朝から調理や盛り付けなど食事を整え、23台の適温配膳車・デリカートで日赤本体や道立北見病院の各病棟に届けられる。

NST・栄養サポートチーム

NSTとは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士、事務員などで構成された医療チームで、多職種が協働で患者の栄養管理を行うことです。【Nutrition Support Team】の略。



栄養サポートチームと呼ばれている。

病院には公式なNST委員会があり副院長が委員長となり、診療部長外18名で必要に応じて随時委員会が開催され、病気や手術のために十分な栄養が摂れない患者への適切な栄養補給方法と病気の回復や合併症の

予防に有用な栄養管理などが話し合われている。この下部組織がNST(チーム)で、毎週、カンファレンスが開催され、回診などが行われる。

オホーツク振興局長、から表彰

食事を治療のひとつと考え、病態や治療による影響に対応可能な二百種類以上の献立を有し、患者に寄り添い、安心安全な給食提供をめざして日々取り組んでいること。感染症への対応を協議しながら、コロナ禍でも途切れることなく給食提供をしたこと。N

ST活動。など同院の給食施設が評価され、今年4月、オホーツク振興局長表彰(保健衛生関係功勞者)を受け、表彰状が井田栄養課長に手渡された。

栄養課の業務

日赤本院と道立北見病院の栄養課スタッフは、入院患者を100人ほど、それぞれ受け持つている。



栄養課の担当栄養士さんが患者退院後の食事指導の事前準備中(栄養相談室にて)